

3年次前期・必修

2単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、ライフステージと看護、子どもと看護Ⅰでの学びを基盤として、様々な健康問題や障がいのある子どもと家族に対して、根拠に基づき、最善のケアを提供するための基本的な看護実践を修得する。

【到達目標】

- 1) 様々な健康問題や障がいのある子どもと家族へ根拠に基づいた最善のケアが考案できる。
 - 2) 子どもの健康状態、成長発達に合わせた基本的な小児看護援助技術を修得する。
-

【授業内容のスケジュール】

(担当)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1-2. 子どもに起こりやすい症状別看護 | 1-7 井上 |
| 3. 病棟での子どもの安全を守る | |
| 4. 手術をする子どもの看護 | |
| 5. 長期間療法が必要な子どもの看護 | |
| 6. 子どもの死の概念の発達 | |
| 7. 子どもがよりよく生きるために (治療・ケアをめぐる意思決定支援) | |
| 8. 事例からの看護過程の展開 | 8-15 狗巻・井上 |
| 9. 事例からの看護過程の展開 | |
| 10-15 子どもの看護技術演習 | |
| ・心身のアセスメント | |
| ・嫌がる子どものバイタル測定 | |
| ・嫌がる子どもの内服支援 | |
| ・侵襲を伴う検査：腰椎穿刺・骨髄穿刺時の看護 | |
| ・採尿・静脈内点滴時の看護 | |
| ・救命処置／アナフラキシーショック時の看護 (エピペン) | |
-

【評価】

試験 70% 講義・演習参加 (専門職を目指す学生としての態度) 10%、課題レポート 20%

【教科書】

二宮啓子編集：小児看護概論「子どもと家族に寄り添う援助」改訂版第3版 南江堂
写真でわかる小児看護技術アドバンス新改訂版 インターメディカ

【推薦参考図書】

必要であれば講義の中で提示する。

【その他】

井上 m-inoue@wakayama-med.ac.jp 狗巻 minumaki@wakayama-med.ac.jp

講義の前に必ず、復習をします。講義には、配布した資料、事前学習課題、教科書を持参し、質問に答えられるようにしてください。そのため事前学習課題は提出用と自分用 (手持ち) を準備してください。